

備前市事務事業評価表

事務事業名	施設見学会事業		コード	担当課	企画課 広報統計班
事業実施期間	平成17年4月1日～		05-01-01-03	担当者	坂本克文
総合計画事業（政策）体系	大項目	住民主体の協働のまちづくり	電話	64-1806	
	中項目	住民主体で進めるまちづくり			
	小項目	公聴広報			
	施策	広聴活動の充実			

事業について	
目的	市の公共施設などを案内し、市政運営の理解の一助とするために実施。
対象（誰のために）	市民レベルで組織された各種任意団体・サークル等
内容	15人以上の団体等の申込により、市内公共施設等を市のバスで案内し、施設の業務内容や利用方法などを理解いただいた。

事業の結果			
実施項目	17年度		
	回数など	回数など	回数など
開催回数	6回		
参加人数	122人		
見学箇所	17箇所		
参加率（平均乗車人数/25人）	81%		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	0	国庫補助金等		直接事業費	0	国庫補助金等	
	人件費	1,570	受益者負担		人件費	1,570	受益者負担	
	市債			市債		市債		
合計	1,570	一般財源等	1,570	合計	0	一般財源等	0	

必要人員	0.20	人
結果指標名	開催回数	
結果指標量	6	
単位	回	
対前年比	—	0.00%
事業費	1,570,000	円
単位当たりコスト①	261,667	円

結果指標名	参加率	
結果指標量	81	
単位	%	
対前年比	—	0.00%
事業費		円
単位当たりコスト②		円

事業の成果			
成果指標名	開催回数	式又は説明	合併による市域拡大により、開催回数と参加人数が増加することで、旧市町間の理解と、市政の理解と協力を資する。
成果指標量	6		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	10回	到達目標年度	平成21年度

事務事業の評価		(平成17年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：バス運行規程	課題認識 市民に公共施設を見学していただき、その施設の概要や業務を説明することで、市が何をしているかを見えやすくすることで行政への理解と協力につながる。 合併後直後で市域が広くなり、一層公共施設に対する理解や意識を深める必要があり、事業継続は妥当である。
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	市所有のバス利用事業であり、ハード面のコストは効率的である。行政のPRと考え、受益者負担は求めるべきでない。利用が同系統団体等に偏りがあり、多種団体の施設見学を進める必要がある。
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	参加者側からの要望で開催される事業であり、参加者が情報を入手したい公共施設の見学であり、これに応じることが成果に直接結びつくものとする。
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価	
コメント	経費そのものは少なく、直接的に効果のある事業であるが、今後は多種で多くの団体等へ事業を拡大するよう、周知していく必要がある。
評価区分	<A~E> C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する（行政資源を集中的に投入する） <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	7	結果指標量②
目標値	結果指標量	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	多種で多団体の利用促進	平成19年度以降	直接的に市政への理解と協力が得られる。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。